

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名		自殺予防対策事業		担当部署	健康福祉部 健康政策課	
総合計画体系				根拠法令計画など	自殺対策基本法・自殺総合対策大綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	未定
(小項目)		保健・医療				
施策	7	健康・医療対策の推進				
基本事業	1	健康増進計画「健康なんと21」の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	心の健康を損ね、自殺に追い込まれる人を少なくするため、心の健康について意識啓発や、精神疾患に対する正しい知識の普及啓発を行う。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	平成25年度と同様に、人権推進課、子どもいきいき課と協働で事業を実施し、若い世代の自殺予防対策に重点をおき、命の大切さについて考える講演会の開催を行う。また、鳴門教育大学とも協力しながら、学生の積極的な参加を促していく。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		講演会等参加者数	430	430	200	200	200	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成25年度と同様に、人権推進課、子どもいきいき課と協働で事業を実施した。特に、若い世代の自殺予防対策に重点をおいた取り組みとして、平成24年度から継続している「絵本」をテーマにし、命の大切さについて考える機会を持てるような講演会やワークショップ、研修会を開催した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	講演会、研修会回数	3	1	2	2	2	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>		講演会等参加者数	510	150	-	-	-	人
		目標達成率(実績/目標)		34.9	-	-	-	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	345	0	0	231	576
		全体予算額		0	345	0	0	231	576
		決算額		0	329	0	0	201	530
		繰越額		0	0	0	0	0	0
		人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費
			0.1			688		1,218	

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	955	530	581	581	581
	うち一般財源	201	201	405	405	405
	人件費	652	688	688	688	688
	総事業費	1,607	1,218	1,269	1,269	1,269

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		命の大切さを伝える取り組みとして、自殺予防の視点だけでなく、人権、子育て・親育ての視点で取り組みを進めたことは良かったと考える。
	効率性	B:概ね効率的だった		他課と連携して事業を実施することにより啓発活動や集客がスムーズに実施できた。
②成果に対する評価	指標名	講演会等参加者数		講演会の開催回数が少なかったこと、小さな施設でしたため入りきれなかったことで人数が少なかったことなどから、参加者については目標人数の達成はできなかった。
	目標	430	人	
	実績	150	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		平成25年度に引き続き、人権推進課、子どもいきいき課と合同で事業を実施したことは効果的であったと考えるが、講演会の開催回数が少なかったこと、小さな施設での実施であったため参加者の目標には届かなかったが、事業目標については概ね達成できたものとする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	傾聴ボランティアとして活動してもらえるボランティアを養成するために、研修会の参加受講費用を助成する制度を設け、広報等に掲載し、啓発をしているが、利用者がいない。引き続き啓発を実施していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	平成24年度から継続して取り組んでいる「絵本」をテーマとしたメンタルヘルス対策を継続して実施する。自殺予防だけの視点ではなく、人権、子育て・親育ての視点も併せて関係各課と連携した事業推進を実施していく。			
	H28年度	平成27年度に継続して実施			